



笑に副作用なし

笑いすぎたら、はらがよじれて痛いかも

笑門 笑う門には福

第3号
発行所
〇〇スタッフ
新聞編集部

糖尿への効果

笑いが血糖値を大幅に引き下げる事が証明されています。難しい講義の時と、漫才ステージを見て笑った時の血糖値を比べたら、50近く血糖の低下が見られたという実験があります。この実験をしたのは、筑波大学の名誉教授です。教授いわく、体の司令塔である遺伝子が、生命の維持に必要な

物質を体内で作りますが、笑うことがこの良い遺伝子のスイッチをオンにするという事です。笑うことを調べていくと、自分の体からちようどいい状態へもつていこうとする力が働いているのを感じます。だから副作用がない。血糖でいうなら、下げすぎない血圧や、ガンをやっつけるNK細胞の活性も

〇〇スタッフは、芸を身につけ、どこまでいくのか、何を目標しているのか

やりすぎていない薬だとその多すぎたり、少なすぎたり、調整が難しい部分があります。笑いは、バランスをとるような感じで、アンバイがいいように思います。笑いが悪くなつた話はないです。人の体とは本当はものすごくよくできたものなのだ。今更ながら、驚いています。

ストレスは糖尿だけでなく、癌や脳梗塞などの病気を誘因することがわかってきます。笑いはストレスを浄化して、心身を免疫を強化できるのがすごいです。ね。この実験をした教授も毎日笑うべきだと結論したそうです。

4月の総会
水戸黄門が、やってくる
水戸黄門は、どこからやってくるでしょう。
それはもちろん、笑いの門からくるのですよ。ププツ！
黄門さまの笑い、悪代官の笑い
授け
してもらいましょう

編集後記
今回の実験の資料を見ていて、真面目な研究に笑いの文字があるだけで編集員はおかしくなりました。この実験の後にさらにどの遺伝子が働くかの実験しているようですが、そんな暇があったら笑えばいいんじゃないの？と思うのが頭が庶民なのでしょか

